

#### IV 緩和ケアチーム



緩和ケアチームは、緩和医療において経験を積んだ身体症状担当医師・精神症状担当医師・がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師・緩和薬物療法認定薬剤師・理学療法士・臨床心理士・医療ソーシャルワーカー・歯科衛生士で構成されている。

担当医師・看護師・その他のメディカルスタッフと常に連携をとり、がんに伴う身体的・精神的・社会的な苦痛を適正かつ積極的に和らげ、患者さんとその家族のQOL向上を目指し活動を行っている。

IV-1 年度別診療科別依頼件数

(件)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
循環器内科	1	2				
血液内科	35	20	25	11	19	6.9
糖尿病・内分泌・代謝内科				1		
肝・胆・膵内科	6	9	14	10	13	4.7
消化管内科	29	26	26	45	42	15.3
呼吸器内科	27	35	59	64	49	17.8
腎・透析内科			1		1	0.4
総合内科		1				
小児科	1	1	4			
肝・胆・膵外科	19	36	7	37	16	5.8
上部消化管外科	2	1	1	8	11	4.0
下部消化管外科	4	2	7	5	4	1.5
炎症性腸疾患外科	-	-		2		
乳腺・内分泌外科	6	23	9	11	24	8.7
呼吸器外科	14	8	7	6	8	2.9
整形外科	4	4	7	3	5	1.8
形成外科				1		
脳神経外科			1			
皮膚科						
泌尿器科	6	3	8	8	15	5.5
産科婦人科	28	25	15	27	44	16.0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	10	5	7	3	12	4.4
放射線科	2	1	1		2	0.7
歯科口腔外科	4	2	5	5	1	0.4
輸血・細胞治療科				7	9	3.3
救命救急センター			1			
ペインクリニック部	12	10	4			
合計	210	214	209	254	275	100.0

IV-2 年度別初診時の依頼内容延件数

(件)

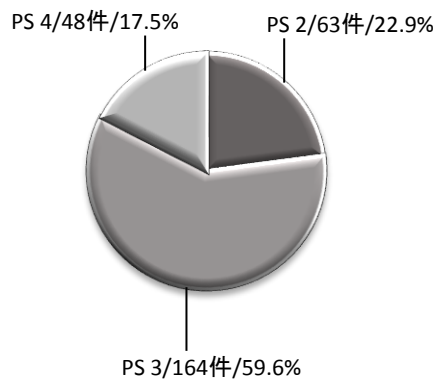
区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
疼痛	197	196	174	211	231
精神症状	106	90	84	90	104
疼痛以外の身体症状	17	28	39	78	102
その他	4	11	12	12	7

IV-3 年度別依頼時期件数

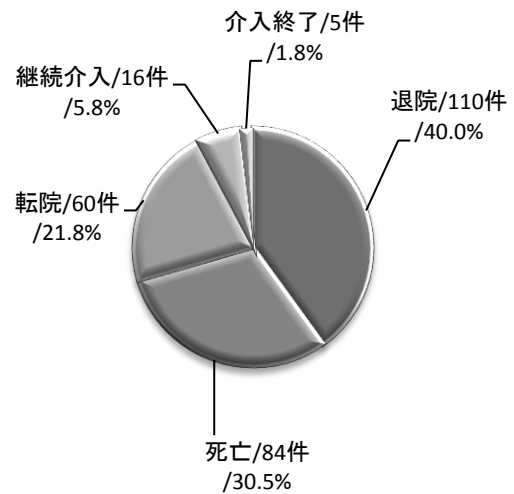
(件)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度
診断から初期治療前	1	3	17	18
がん治療中	97	120	160	174
がん治療終了後	116	86	77	83

IV-4 28年度依頼時のperformance status (合計275件)



IV-5 28年度患者の転帰 (合計275件)



※performance status (PS)

全身状態の指標の一つで、患者さんの日常生活の制限の程度を示します。

- 0：まったく問題なく活動できる。発症前と同じ日常生活が制限なく行える。
- 1：肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。
- 2：歩行可能で、自分の身のまわりのことはすべて可能だが、作業はできない。日中の50%以上はベッド外で過ごす。
- 3：限られた自分の身のまわりのことしかできない。日中の50%以上をベッドか椅子で過ごす。
- 4：まったく動けない。自分の身のまわりのことはまったくできない。完全にベッドか椅子で過ごす。